UYEMURA

2027年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料

上村工業株式会社

東京証券取引所スタンダード市場　証券コード：4966

2026年11月11日

2026年11月13日更新

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

【連結会計期間】
日本国内(1社)：4月～9月／海外(10社)： 1月～6月

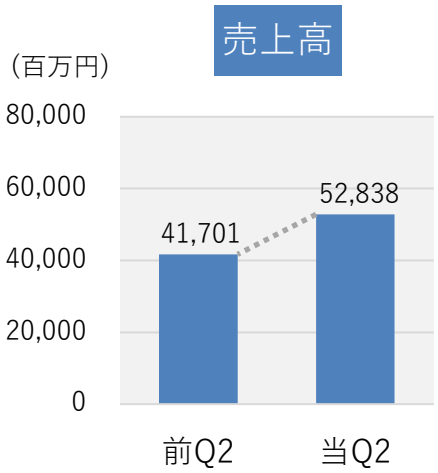
- **表面処理用資材事業**
  - 主力の半導体パッケージ基板向けのめっき薬品の需要は、生成AI用サーバー向けを中心に好調に推移し、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

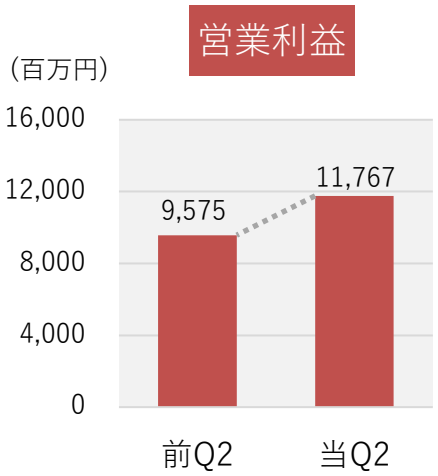
- **表面処理用機械事業**
  - 売上高は前年同期を下回りましたが、付加価値の高い半導体ウェハー用めっき装置の販売により、セグメント利益は前年同期を上回りました。

- **めっき加工事業**
  - 電子回路基板向けのめっき加工の需要が堅調であったことから、売上高は前年同期を上回りましたが、原材料価格の高騰等の影響を受けました。

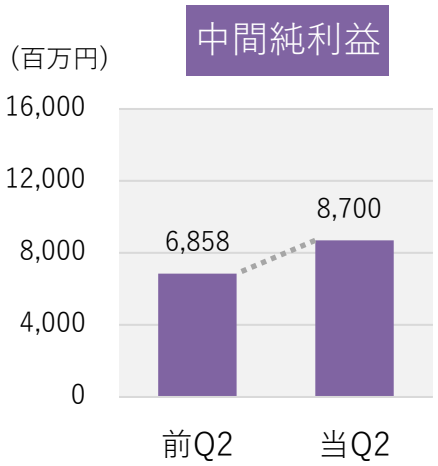
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要





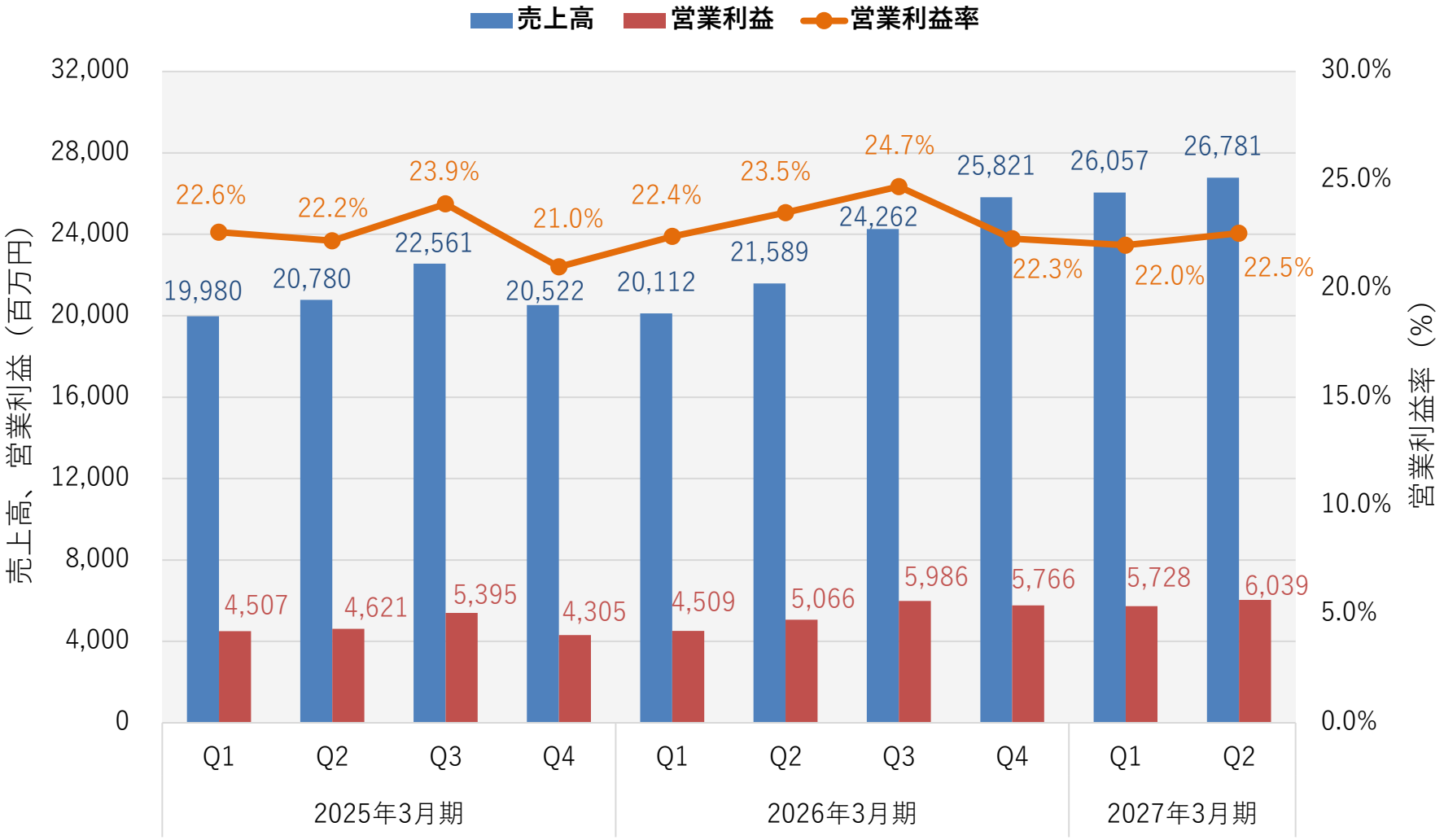




（単位：百万円）	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計予想	当第2四半期 累計実績	前期比	予想比
売上高	41,701	44,710	52,838	＋11,137 (＋26.7%)	＋8,128 (＋18.2%)
営業利益	9,575	9,330	11,767	＋2,192 (＋22.9%)	＋2,437 (＋26.1%)
経常利益	9,642	9,620	12,303	＋2,661 (＋27.6%)	＋2,683 (＋27.9%)
中間純利益	6,858	7,100	8,700	＋1,842 (＋26.9%)	＋1,600 (＋22.5%)
為替：米ドル	148.40円	156.96円	158.29円	9.89円安	1.33円安

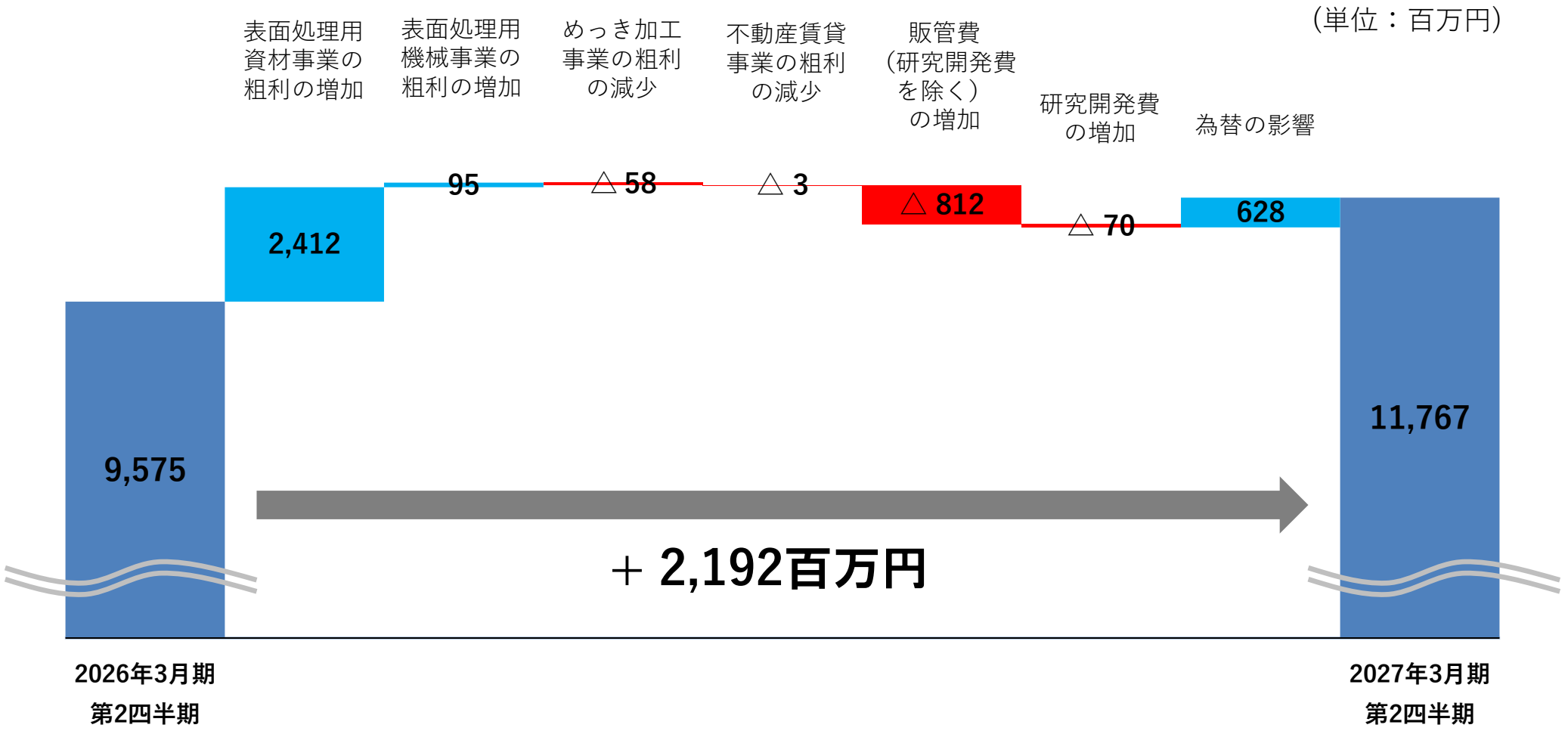
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

四半期毎の業績推移



© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

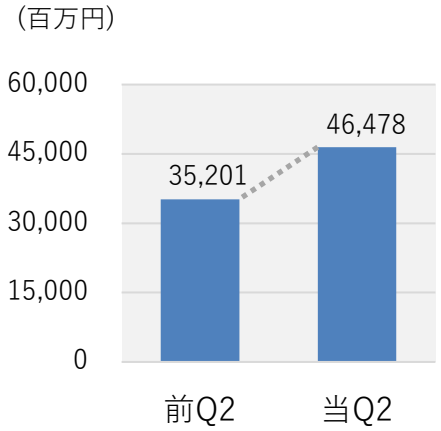
営業利益の増減要因



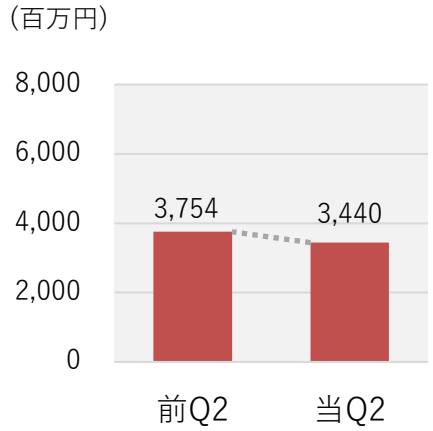
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメント別売上高

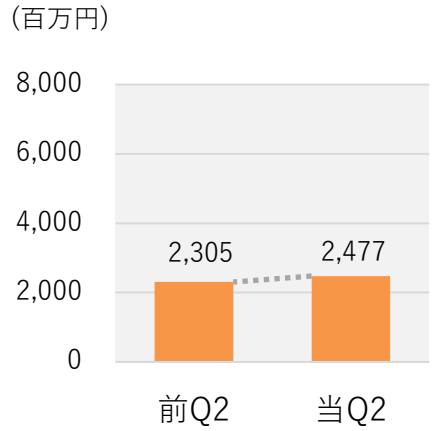
表面処理用資材事業



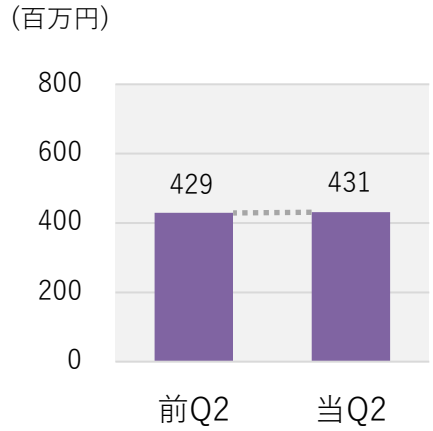
表面処理用機械事業



めっき加工事業



不動産賃貸事業

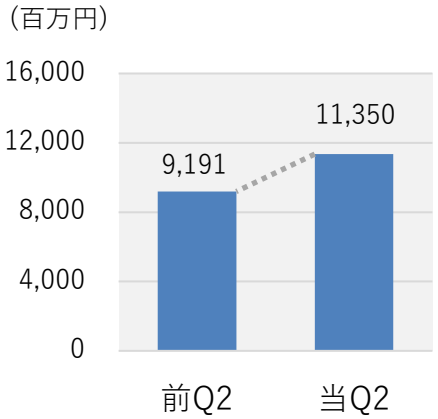


（単位：百万円）	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率
表面処理用資材	35,201	46,478	＋11,277	＋32.0%
表面処理用機械	3,754	3,440	△314	△8.4%
めっき加工	2,305	2,477	＋172	＋7.5%
不動産賃貸	429	431	＋2	＋0.5%

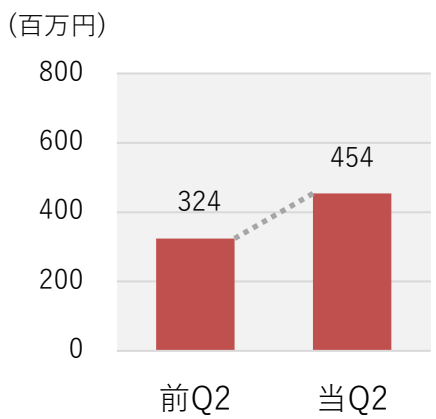
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業セグメント別営業利益

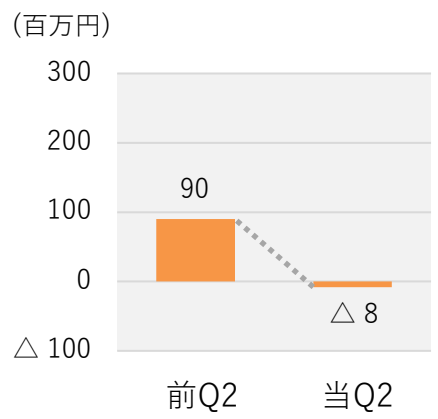
表面処理用資材事業



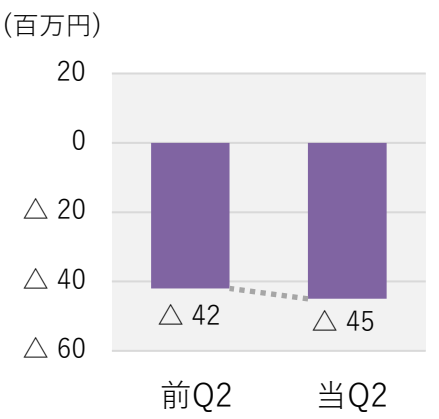
表面処理用機械事業



めっき加工事業



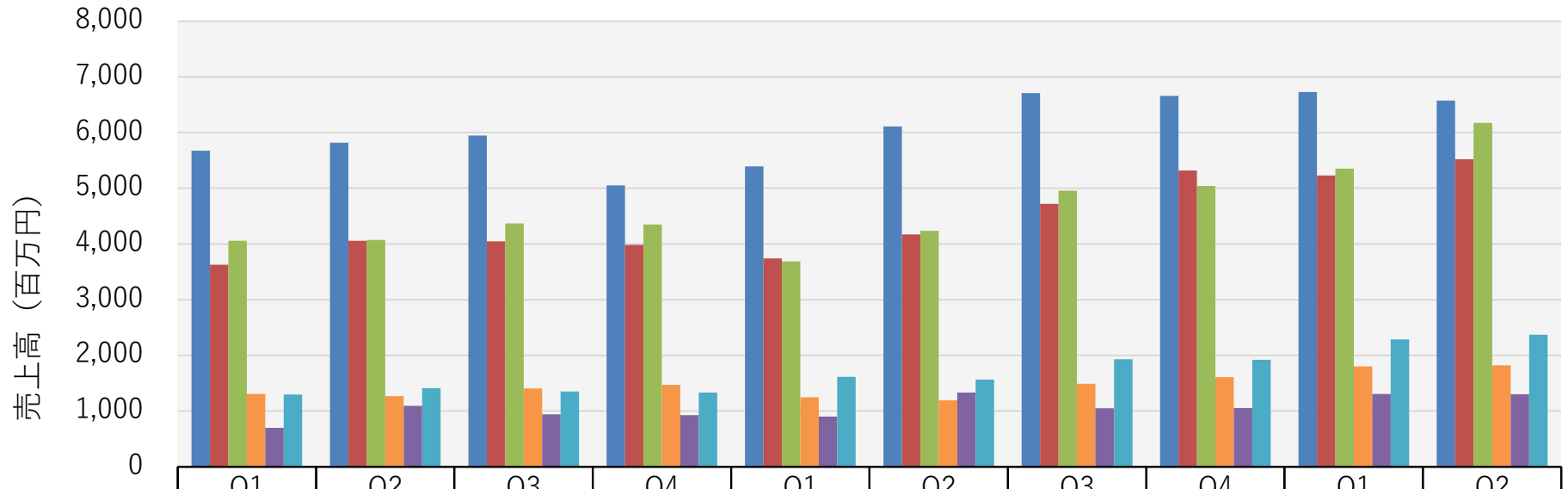
不動産賃貸事業



(単位：百万円)	前第2四半期 累計実績	当第2四半期 累計実績	増減額	増減率
表面処理用資材	9,191	11,350	＋ 2,159	＋ 23.5%
表面処理用機械	324	454	＋ 130	＋ 40.1%
めっき加工	90	△ 8	△ 98	-
不動産賃貸	△ 42	△ 45	△ 3	-

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

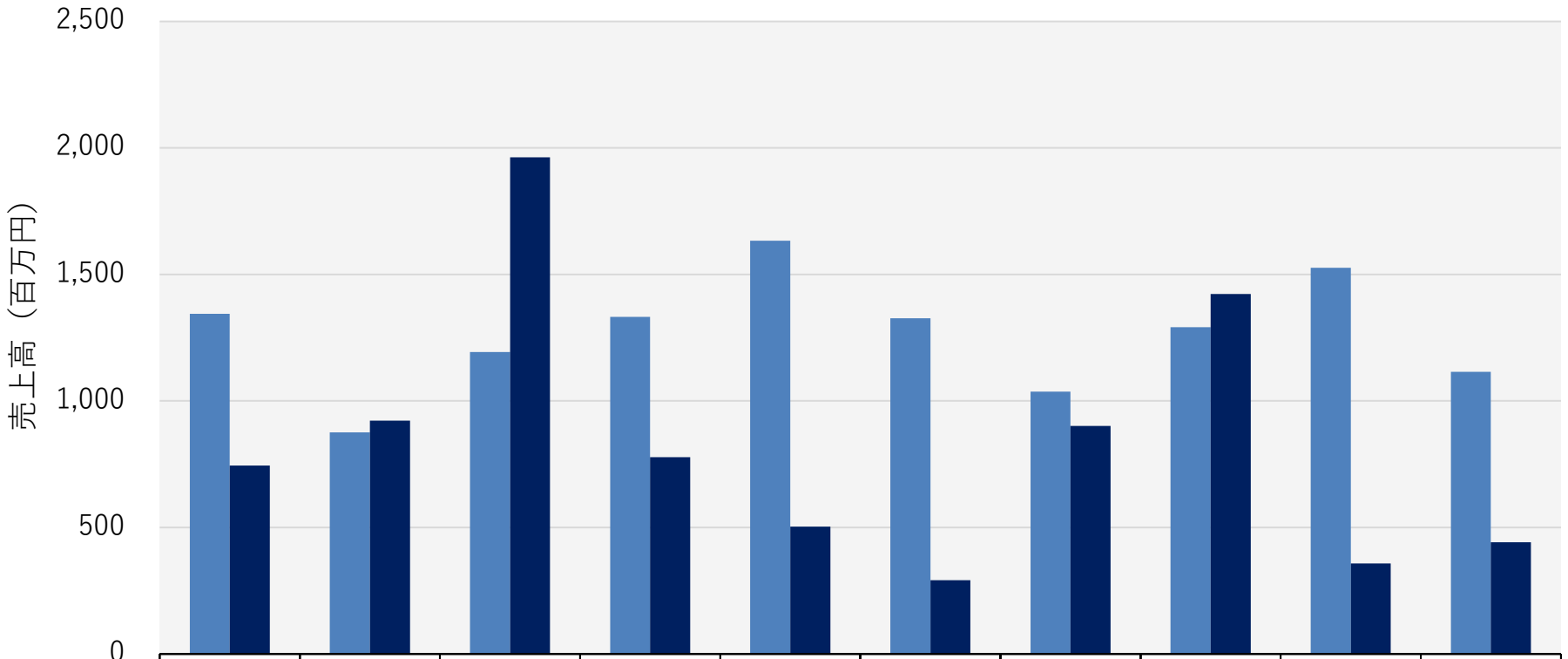
表面処理用資材事業 売上高推移



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期	
日本	5,674	5,820	5,948	5,053	5,393	6,109	6,709	6,658	6,727	6,577
台湾	3,626	4,058	4,049	3,985	3,739	4,172	4,719	5,318	5,228	5,521
中国	4,059	4,072	4,367	4,347	3,686	4,235	4,957	5,040	5,351	6,175
韓国	1,308	1,269	1,405	1,470	1,250	1,195	1,489	1,612	1,802	1,821
ＡＳＥＡＮ	698	1,094	941	926	902	1,335	1,050	1,055	1,309	1,302
北米	1,300	1,414	1,353	1,334	1,616	1,564	1,931	1,920	2,285	2,373

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

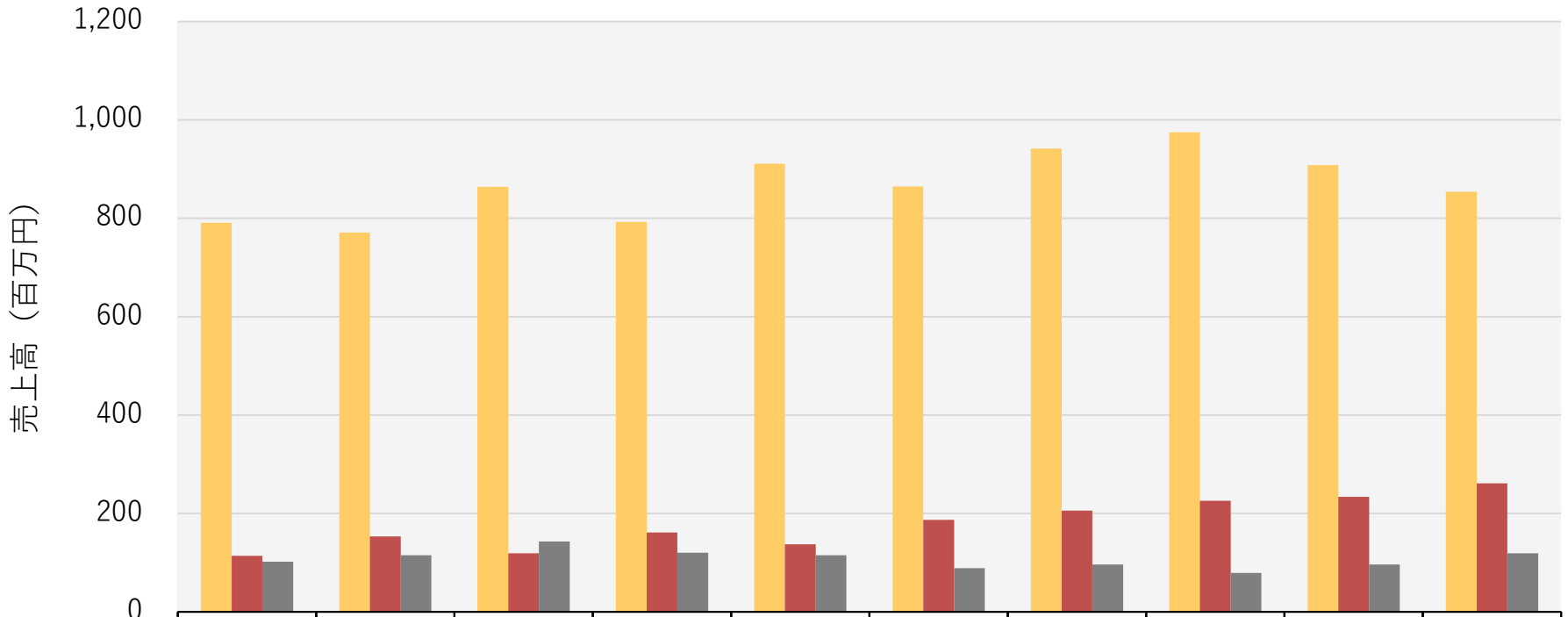
表面処理用機械事業 売上高推移



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期	
■日本	1,344	876	1,193	1,332	1,633	1,327	1,037	1,291	1,526	1,115
■海外	745	922	1,963	778	503	292	901	1,423	358	441

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

めっき加工事業 売上高推移



	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
	2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期	
タイ	791	771	864	793	911	865	942	975	908	854
台湾	114	153	119	161	137	187	206	226	234	261
インドネシア	102	115	143	120	115	89	96	79	96	119

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

薬品ビジネス 最終製品までの流れ

当社薬品	内容	主要顧客	最終製品
HDD関連薬品	ハードディスク・アルミニウム素材への無電解プロセス薬品	・ハードディスクドライブメーカー ・アルミ磁気ディスクメーカー	サーバー・PCなど
PWB & PKG関連薬品	・銅めっき関連製品 ・最終表面処理関連薬品	・半導体パッケージ基板メーカー ・プリント基板メーカー	サーバー・PC・モバイル端末・自動車（ADAS）など
ウェハー関連薬品	・無電解めっき用プロセス ・バンプ形成用電解めっきプロセス	半導体デバイスメーカー	自動車（パワー半導体）・エレクトロニクス製品など
その他めっき薬品	・機能めっき ・装飾めっき	・自動車部品メーカー ・機械部品メーカー	自動車・産業機械など

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

薬品カテゴリー別・地域別売上高

（単位：百万円）		日本	台湾	中国	韓国	ＡＳＥＡＮ	北米	合計
HDD関連	当Q2	1,410	0	0	0	687	0	2,097
	前Q2	1,157	0	0	0	526	0	1,683
	前期比	＋ 252 (＋ 21.9%)	-	-	-	＋ 160 (＋ 30.6%)	-	＋ 413 (＋ 24.6%)
PWB & PKG関連	当Q2	2,358	8,119	10,113	2,277	999	1,068	24,936
	前Q2	2,040	6,604	7,650	1,665	896	864	19,720
	前期比	＋ 318 (＋ 15.6%)	＋ 1,515 (＋ 23.0%)	＋ 2,462 (＋ 32.2%)	＋ 611 (＋ 36.7%)	＋ 103 (＋ 11.5%)	＋ 204 (＋ 23.6%)	＋ 5,215 (＋ 26.4%)
ウェハー関連	当Q2	689	43	220	28	0	10	992
	前Q2	858	17	185	12	0	26	1,101
	前期比	△ 168 (△ 19.7%)	25 (＋ 147.4%)	35 (＋ 18.9%)	16 (＋ 129.9%)	-	△ 16 (△ 61.4%)	△ 108 (△ 9.8%)
その他	当Q2	1,762	249	707	24	238	435	3,418
	前Q2	1,698	220	487	26	204	333	2,971
	前期比	64 (＋ 3.8%)	28 (＋ 12.8%)	220 (＋ 45.1%)	△ 1 (△ 6.1%)	34 (＋ 16.8%)	101 (＋ 30.5%)	446 (＋ 15.0%)
合計	当Q2	6,221	8,412	11,041	2,330	1,925	1,514	31,445
	前Q2	5,754	6,842	8,324	1,704	1,626	1,224	25,477
	前期比	466 (＋ 8.1%)	1,569 (＋ 22.9%)	2,717 (＋ 32.6%)	626 (＋ 36.7%)	298 (＋ 18.4%)	289 (＋ 23.6%)	5,967 (＋ 23.4%)

※薬品の売上高は、表面処理用資材事業に含まれます。薬品には研磨剤、工業薬品、金属等は含んでおりません。

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結業績予想の修正

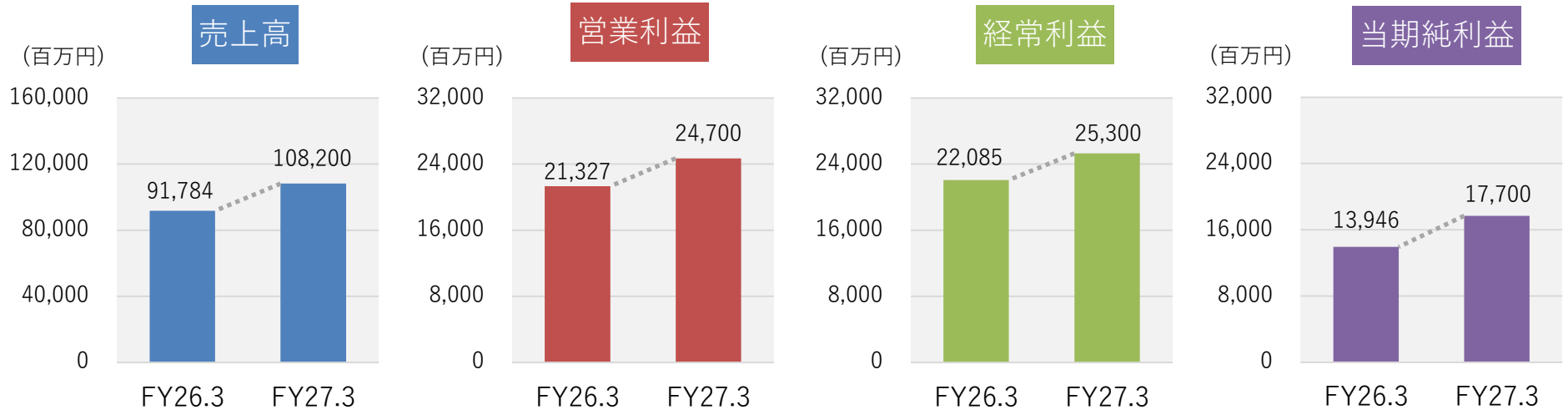
（単位：百万円）	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	95,840	108,200	＋12,360	＋12.9%
営業利益	20,330	24,700	+4,370	+21.5%
経常利益	20,890	25,300	+4,410	+21.1%
当期純利益	14,530	17,700	+3,170	+21.8%
1株当たり当期純利益	900.48円	1,107.78円		

《修正の理由》

当中間期連結会計期間は、当社グループの主力市場であるエレクトロニクス市場において、生成AI 用サーバー向けを中心とする需要の拡大が継続しました。
引き続き、パッケージ基板用めっき薬品の販売が堅調に推移することが見込まれることから、売上高、利益ともに前回発表予想を上回る見込みとなりました。

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績予想



(単位：百万円)	前期実績	当期予想 (2026.11.11修正)	増減額	増減率
売上高	91,784	108,200	＋16,416	＋17.9%
営業利益	21,327	24,700	＋3,373	＋15.8%
経常利益	22,085	25,300	＋3,215	＋14.6%
当期純利益	13,946	17,700	＋3,754	＋26.9%
為替：米ドル	149.61円	157.98円	8.37円安	

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績予想

● 事業セグメント別売上高・営業利益予想

(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	前期実績	当期予想 (2026.11.11修正)	当Q2 累計実績	対予想 進捗率	前期実績	当期予想 (2026.11.11修正)	当Q2 累計実績	対予想 進捗率
表面処理用資材	77,661	93,379	46,478	49.8%	20,428	23,579	11,350	48.1%
表面処理用機械	8,406	9,190	3,440	37.4%	862	1,067	454	42.5%
めっき加工	4,838	4,839	2,477	51.2%	168	△ 62	△ 8	-
不動産賃貸	860	855	431	50.4%	△ 157	117	△ 45	-

● 薬品カテゴリー別売上高予想

(単位：百万円)	前期実績	当期予想 (2026.11.11修正)	当Q2 累計実績	対予想 進捗率
HDD関連	3,697	4,200	2,097	49.9%
PWB & PKG関連	42,543	51,650	24,936	48.3%
ウェハー関連	2,267	1,972	992	50.3%
その他	6,132	6,960	3,418	49.1%
合計	54,641	64,782	31,445	48.5%

＜参考＞為替感応度

2027年3月期想定レート：157.98円(JPY/USD)

円安に1円振れると通期で
- 売　　上：約370百万円増
- 営業利益：約90百万円増

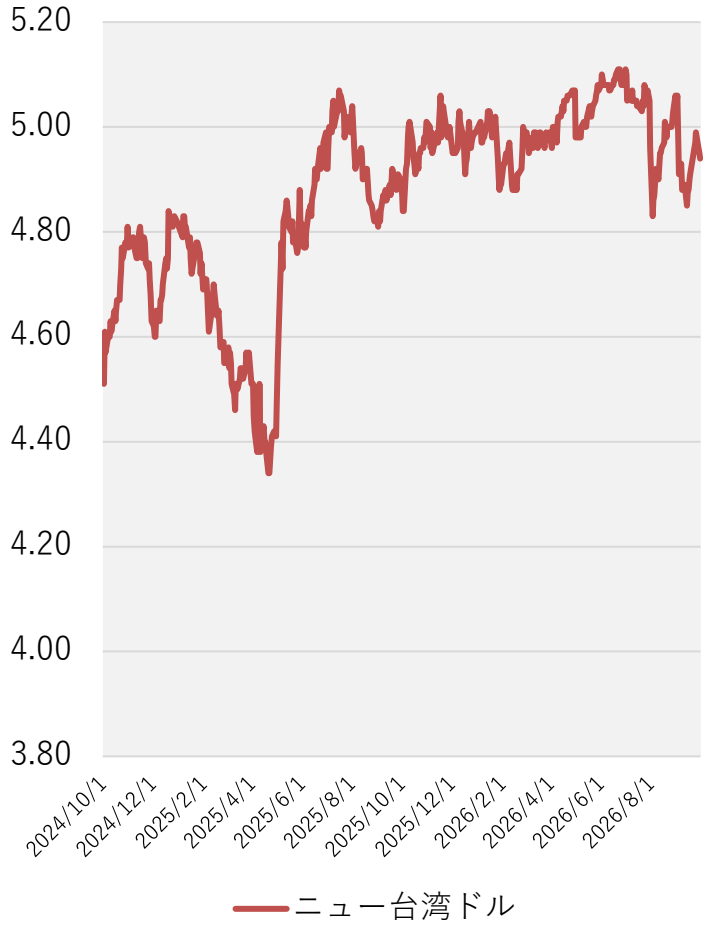
円高に1円振れると通期で
- 売　　上：約370百万円減
- 営業利益：約90百万円減

※米ドル以外の通貨も連動して動くことを想定しています。

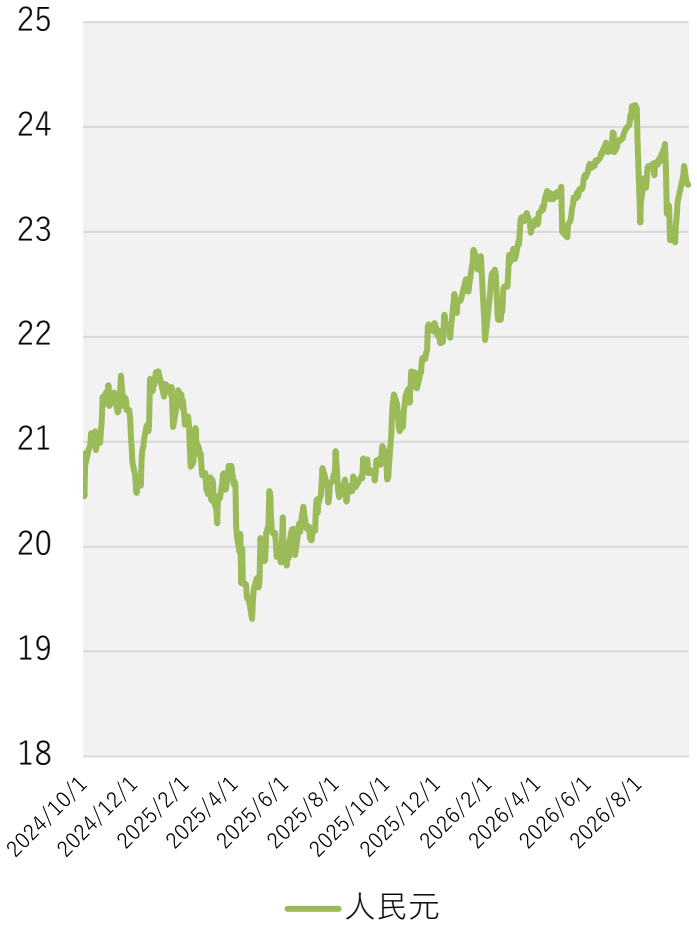
© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

為替レートの推移

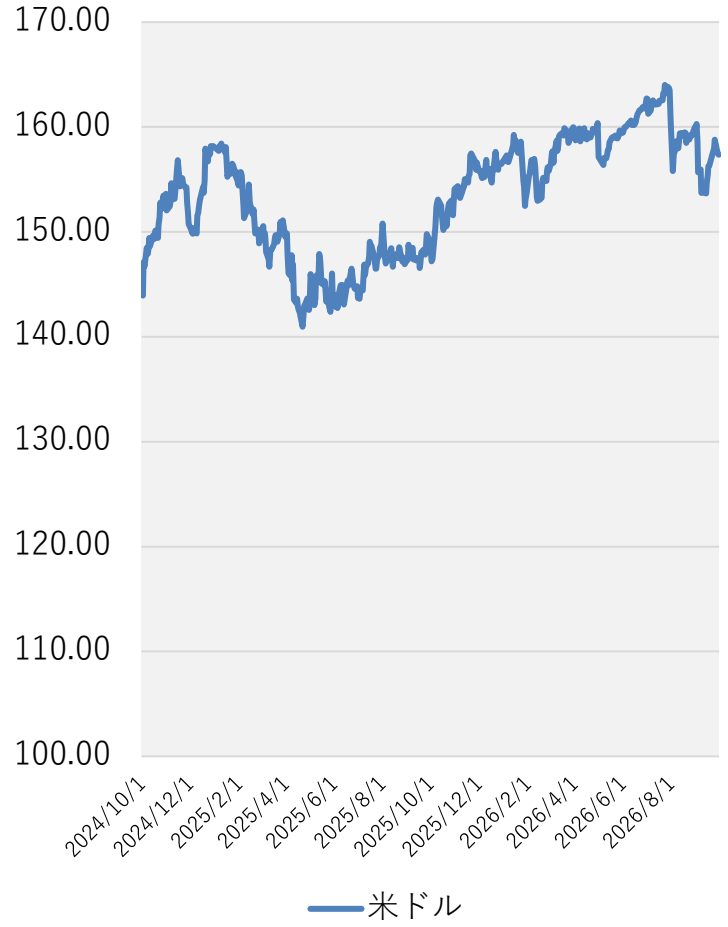
ニュー台湾ドル



人民元

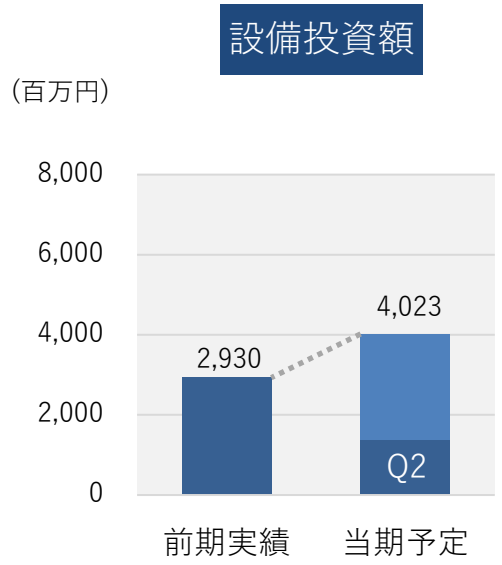


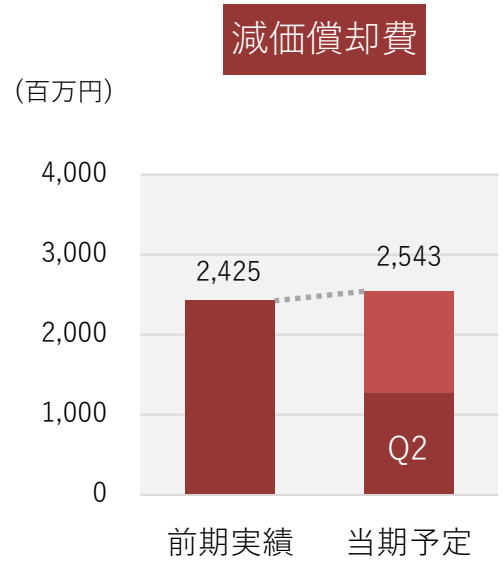
米ドル

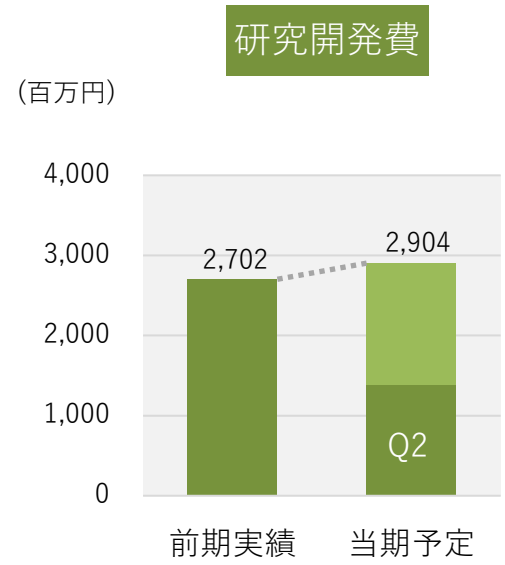


© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

設備投資/減価償却/研究開発費







(単位：百万円)	前期実績 (通期)	当第2四半期 累計実績	当期予定 (通期)
設備投資額	2,930	1,392	4,023
減価償却費	2,425	1,273	2,543
研究開発費	2,702	1,385	2,904

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

＜トピックス＞枚方工場再構築の進捗状況

化成品工場 新排水処理棟・中央研究所 第３研究棟建設計画

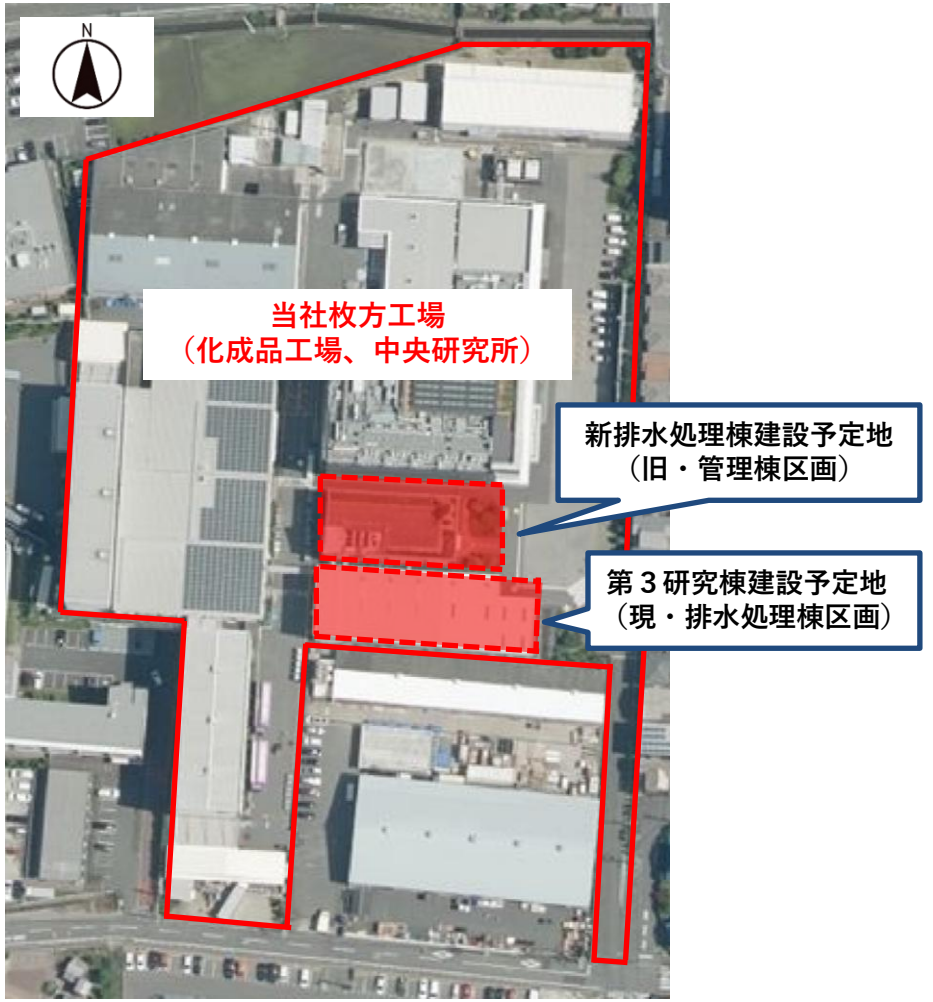
枚方工場（大阪府枚方市）の再構築の一環として、化成品工場の新排水処理棟および中央研究所の新棟（第３研究棟）の建設を段階的に進める予定です。

化成品工場 新排水処理棟の計画概要

- CO_2排出量を年間約160t削減（工場全体の約20%）
- ボイラー設備を使用せず、24時間稼働可能
- ネット上で処理状況を確認できるIoT システム導入
- 投資予定金額：約8.5億円（管理棟解体費用含む）
- 完成予定時期：2028年9月

中央研究所 第３研究棟の計画概要

- 新排水処理棟の運用開始後に現在の排水処理棟を解体して着工
- 研究開発体制の強化と顧客への技術サポート体制の充実を図る
- 完成予定時期：2030年以降



国土地理院撮影の空中写真を加工して作成

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

＜トピックス＞研究開発用電解銅めっき装置導入

先端パッケージ基板向け研究開発体制強化

ガラスコアやガラスインターポーザーなどの先端パッケージ基板向け電解銅めっきの開発・試作対応のため、中央研究所（大阪府枚方市）の第２研究棟において、新規電解銅めっきラインの導入を計画しております。

投資目的

- 先端パッケージ基板向けめっきプロセスの開発
- 顧客への迅速な試作対応

投資概要

- フルサイズガラス基板用電解銅めっきライン増設
  （クラス1000のクリーンルームへ適応可能）
- 所在地：中央研究所（大阪府枚方市）
- 投資予定金額：約2億円
- 設置予定時期：2027年4月



中央研究所

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

＜トピックス＞東アジア地域における薬品生産能力の拡張

倉庫拡充による安定供給体制の構築

東アジア地域（中国・韓国）におけるめっき薬品の生産能力を拡張する一環として、中国・深圳では倉庫建屋および自動倉庫の新設、韓国では新倉庫建設用地の取得および倉庫建設を計画しております。

中国・深圳

- 所在地：中国広東省深圳市
- 投資予定金額：約5.2億円
  （建屋3.8億円・自動倉庫1.4億円）
- 完成予定時期：2027年10月



上村工業（深圳）有限公司

韓国

- 所在地：韓国京畿道華城市
- 投資予定金額：約6.6億円
  （土地2.6億円・倉庫建設4億円）
- 完成予定時期：2028年10月



韓国上村株式会社

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

ESG・SDGsに関する取り組み

当社は「Growing together with （:You）」 のグループ共通スローガンのもと、
ステークホルダーの皆様と共に成長・発展し、社会に貢献できる企業を目指しています

Environment（環境）

環境対応型製品・技術の開発・拡販

社会発展・環境改善へとつながる製品の開発・提供

廃棄物・水使用量の削減

クリーンエネルギーの使用、電力使用量の削減

持続可能な
社会の実現

Social（社会）

社会貢献・地域貢献活動の推進

受注から出荷までの工程の自動化

いきいきと働ける職場環境の整備

Governance（ガバナンス）

コンプライアンスの徹底、人権の尊重

BCP（事業継続計画）の実施

詳細な取り組み内容については、当社ホームページをご確認ください

© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

環境対応製品　～SDGsの積極的取り組み～

1. Pbフリーめっき浴
   - 無電解Niめっき浴。　主に汎用浴向け。
   - Pbフリーの電気Snめっき浴。純Sn、Sn-Ag浴など。　電子部品向け。
2. シアンフリー浴
   - シアンフリー＆フリーシアン補給不要の無電解Auめっき浴。　ウェハー、電子部品向け。
3. デスミアフリープロセス
   - 危険な過マンガン酸をつかわない基板向けプロセス。
4. ホルマリンフリー浴およびホルマリン不使用プロセス
   - ホルマリンフリー無電解Cu浴の開発。　ウェハー向け。
5. PFOS, PFOA, PFASフリー浴
   - PTFE複合めっき。　主に車載部品向け。
6. 廃液処理
   - めっき液リサイクルユニット
7. CO_2削減
   - 低融点接合材料めっき、低融点接合に適した最終表面処理















© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ会社一覧

会社名	設立年	所在地	主な事業内容
上村工業株式会社	1848年(創業) 1933年(設立)	日本	
ウエムラ・インターナショナル・コーポレーション	1985年	米国	
上村(香港)有限公司	1986年	中国 (香港)	
台湾上村股份有限公司	1987年	台湾	
ウエムラ・タイランド	1987年	タイ	
上村工業(深圳)有限公司	1988年	中国 (深圳)	
ウエムラ・インターナショナル・シンガポール	1992年	シンガポール	
ウエムラ・マレーシア	1996年	マレーシア	
上村化学(上海)有限公司	2002年	中国 (上海)	
韓国上村株式会社	2010年	韓国	
ウエムラ・インドネシア	2012年	インドネシア	



© C. Uyemura & Co., Ltd. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Growing together with



Uyemura Group Companies

• Japan	C.Uyemura & Co., Ltd.
• USA	Uyemura International Corporation
• Hong Kong	Uyemura International (Hong Kong) Co., Ltd.
• Shenzhen	Uyemura (Shenzhen) Co., Ltd.
• Shanghai	Uyemura (Shanghai) Co., Ltd.
• Taiwan	Taiwan Uyemura Co., Ltd.
• Korea	Uyemura Korea Co., Ltd.
• Singapore	Uyemura International (Singapore) Pte Ltd
• Malaysia	Uyemura (Malaysia) Sdn. Bhd.
• Thailand	Uyemura Thailand Co., Ltd.
• Indonesia	PT. Uyemura Indonesia